

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 03-277495

(43)Date of publication of application : 09.12.1991

(51)Int.Cl. B26D 1/30

(21)Application number : 02-073998

(71)Applicant : KARL JIMUKI KK

(22)Date of filing : 23.03.1990

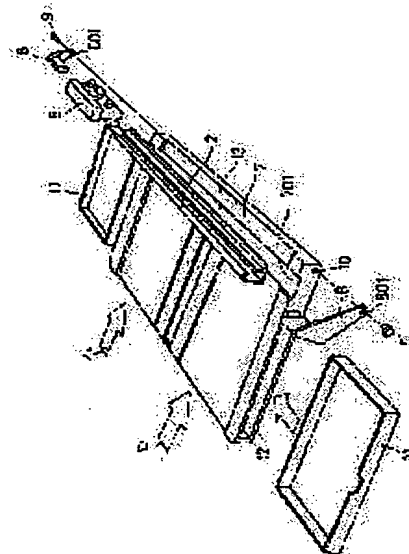
(72)Inventor : MORI CHUZO

(54) PAPER CUTTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To facilitate usage of a paper cutter by fixedly supporting a rail with support fittings providing on both side faces of a paper cutter base in rotatable manner, and positioning each pivot of the support fittings in a place where the rail is separated from an end edge of the paper cutter base when the support fittings are turned outward to the paper cutter base.

CONSTITUTION: When paper is cut, a cutter holder 5 attached to a rail 2 is turned to the outside of a paper cutter base 7 by the hand grasping the holder 5 through support fittings 8. The turning motion is, for example, rightward if the cutter holder 5 is grasped by the righthand, and leftward by the lefthand. Consequently, there is no force movement of a wrist.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2867062号

(45) 発行日 平成11年(1999) 3月8日

(24) 登録日 平成10年(1998) 12月25日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

B 2 6 D 1/20

B 2 6 D 1/20

Z

請求項の数 1 (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平2-73998

(22) 出願日 平成2年(1990) 3月23日

(65) 公開番号 特開平3-277495

(43) 公開日 平成3年(1991) 12月9日

審査請求日 平成9年(1997) 2月5日

(73) 特許権者 999999999

カール事務器株式会社

東京都葛飾区立石3丁目7番9号

(72) 発明者 森 忠三

東京都葛飾区立石3丁目7番9号 カール事務器株式会社内

(74) 代理人 弁理士 粂 経夫 (外1名)

審査官 谷治 和文

(56) 参考文献 実開 昭62-201690 (J P, U)

実開 昭52-71180 (J P, U)

実公 昭47-19194 (J P, Y 1)

(58) 調査した分野(Int.Cl.⁶, D B名)

B26D 1/18

B26D 1/20

(54) 【発明の名称】 紙截断器

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 紙截断基盤の両側面に回動可能に支持具を設け、該支持具にレールを固定支持し、前記支持具の回動支点を紙截断基盤に対して支持具を外側に回動したとき前記レールが紙截断基盤の端縁から外れる位置とし、前記レールにカッターヘッドを摺動可能に装着し、紙截断基盤に引き出しを設けて成る紙截断器。

【発明の詳細な説明】

(産業上の利用分野)

本発明は事務器として使用する紙截断器の改良に関するものである。

(従来技術)

従来の事務器として使用する紙截断器は第11図に示すように紙截断基盤1の一側にレール2が設けられ、このレール2は紙截断基盤1にピン4にて回動可能に取り付

2

けられた支持具3を用いて支持されている。またレール2にはカッターホルダ5 (実開平1-132394号公報参照) がレール2に沿って摺動可能に設けられている。この紙截断器の使用は紙截断器に対して第11図Aの側からカッターホルダ5を右手で握って第9図に示すように仮想線で示す5'の方向(左方向)にカッターホルダ5を倒して矢印イの方向から切断する紙を左手で差し込んだ後にカッターホルダ5を元の位置に起こし、カッターホルダ5をレール2に沿わせて摺動し紙を截断する。

また左利きの人には紙截断器に対して第11図Bの側からカッターホルダ5を左手で握って仮想線で示す5'の方向(右方向)にカッターホルダ5を倒して矢印イの方向から切断する紙を右手で差し込んだ後にカッターホルダ5を元の位置に起こし、カッターホルダ5をレール2に沿わせて摺動し紙を截断する。

(発明が解決しようとする課題)

上記従来例において、紙を截断するときにはカッターホルダを右手で握って左方向に手首をねじるようにして倒すので右手首が不自然な状態になり取り扱い難いという問題がある。また左利きの場合も同様に左手でカッターホルダを握って手首をねじるようにして右側に倒すので同様の問題がある。次に紙截断基盤上で工作などする場合にはカッターホルダが紙截断基盤上にあるので、紙截断基盤上の占有面積が狭くなって工作がやりにくいという不具合があり、また第10図に示すように紙截断器を裏返しにして工作をしようとしてもカッターホルダが床面6に当たってその裏面が傾斜しかつ不安定になって工作するのに不都合である。また截断器の荷姿7はカッターホルダが紙截断基盤の上に突出しているので大きくなり、倉庫の在庫保管に広いスペースを要するという問題があり、同様に家庭内あるいは事務室内でも収納スペースを広く取るという問題がある。

本発明は紙截断時あるいは工作時の使い勝手をよくするとともに荷姿を小さくして保管および収納のスペースを小さくした紙截断器を提供するものである。

(課題を解決するための手段)

上記課題を解決するための本発明に係る手段は、紙截断基盤の両側面に回動可能に支持具を設け、該支持具にレールを固定支持し、前記支持具の回動支点を紙截断基盤に対して支持具を外側に回動したとき前記レールが紙截断基盤の端縁から外れる位置とし、前記レールにカッターヘッドを摺動可能に装着し、紙截断基盤に引き出しを設けて成るものである。

(作用)

本発明はこのように構成したので、紙を截断するときにはレールに装着されたカッターホルダを握って紙截断基盤の外側に支持具を介して回動する。この回動動作は例えばカッターホルダを右手で握った場合には右方向に回動するようになり、また左手で握った場合には左方向に回動するようになるので、そのときの手首の動作には不自然なところはない。

また回動されたカッターホルダおよびレールは紙截断基盤の端縁から外れるので机上においたとき紙截断基盤は水平になり、かつ紙截断基盤上にはカッターホルダおよびレールがなく紙截断基盤の全面を工作台として利用可能であり、また紙截断基盤の裏面の全面をも工作台として利用することが可能である。そして荷姿は机上に置いた姿で荷作りすることにより小さくなる。

(実施例)

以下本発明の一実施例について説明する。第1図に示すように紙截断基盤7には、先ずレール2にカッターホルダ5を装着した後に、そのレール2の両端に支持具8を差し込んで、止めボルト9を支持具8の孔801に挿通し、紙截断基盤7の両側にあけられた止め穴10に止めボルト9を螺合して支持具8を紙截断基盤7に回動可能に

取り付けレール2が装着される。この止め穴10の位置は支持具8が止めボルト9を中心にして紙截断基盤7に対して外側に回動したときに、支持具8に固定支持されたレール2が紙截断基盤7の端縁から外れるようになる位置にあけられている。紙截断基盤7にはカッターマット13が設けられ、このカッターマット13にレール2の下面が接するようにレール2の幅に合わせて切欠701が形成されている。また紙截断基盤7の両側には引き出し11を挿入する引き出し穴10が設けられている。本実施例ではこの引き出し11は紙截断基盤7の両側に設けているが矢印(口)、(ハ)の方向から引き出せるように引き出し11を設けてもよい。

第5図に示すようにレール2の断面形状はその上部を円弧状に曲げ下端には案内壁202を垂直に設けて上部円弧と対称に下部にも円弧を形成し垂直方向にC字形の案内溝201が形成され、その下面はフランジ203が形成して水平面になっている。また第6図に示すようにカッターホルダ5には、レール2の案内溝201に対して相似形の案内部501が形成されている。支持具8は第7図および第8図に示すようにレール2の案内溝201に対して相似形の固定部802が形成されている。そして固定部802がレール2の案内溝201に差し込まれてレール2を紙截断基盤7に装着されたときに紙截断基盤7の側面との間に隙間13を確保するために段部803を設けている。次に第2図に示すように紙截断基盤7の表面にはガイド溝15とガイド用スリット16が形成されていてこのガイド溝15とガイド用スリット16に嵌込まれて目盛り17に合わせるように摺動させられるスケール14が設けられている。一方紙截断基盤7の裏面にはカッターマットが設けられている。

以上のように構成した本実施例の作用について次に説明する。先ず第1図において截断器を組み立てる場合には、レール2の案内溝201にカッターホルダ5の案内部501を嵌合してカッターホルダ5をレール2に差し込み、次に支持具8の固定部802をレール2の案内溝201に差し込む。そして支持具8を紙截断基盤7の側面に止めボルト9にて回動自在に取り付ける。このように組み立てられた状態を第2図に示す。次に紙を截断する場合には例えば第2図において紙截断器のA側から右手でカッターホルダ5をつかみ右側に支持具8を回動し截断する紙を左手でスケール14側から差し込む。そしてスケール14に合わせて紙をセットした後にカッターホルダ5を起し、カッターホルダ5をレール2に沿って摺動させて紙を截断する。

上記説明は右手でカッターホルダ5を操作する場合について説明したが、紙截断器のB側から左手でカッターホルダ5を操作する場合には、左手でカッターホルダ5をつかみ左側に支持具8を回動し截断する紙を右手でスケール14側から差し込む。そしてスケール14に合わせて紙をセットした後にカッターホルダ5を起し、カッタ

ーホルダ5をレール2に沿って摺動させて紙を截断する。

このようにカッターホルダ5を右手で操作する場合には支持具8を右側に回動し、左手で操作する場合には支持具8を左側に回動するのでカッターホルダ5を操作する手にはねじるような不自然さはない。

次に紙截断基盤7を工作台として使用する場合には、第3図に示すようにカッターホルダ5を紙截断基盤7の外側に向けて5'の位置まで回動する。これによりレール2は紙截断基盤7の端縁から外れるように止め穴10が設けられているので、机上6の上に紙截断基盤7を置いたときにカッターホルダ5も紙截断基盤7と同一平面になり、紙截断基盤7は水平に置かれる。そしてカッターホルダ5は紙截断基盤7上から外れた位置にあるので紙截断基盤7全体を工作台として利用することが可能になる。また第4図に示すように紙截断基盤7を裏返しにしてその裏面18を工作台として使用する場合でもカッターホルダ5は紙截断基盤7の外側に位置しており、紙截断基盤7は机上6に水平に置かれる。そして裏面18に例えばカッターシートを貼着しておけばなお便利である。そして引き出し11内に例えば工作に必要な定規とかカッターナイフあるいは筆記具などを入れておくことができる。

次に在庫品として倉庫などに保管しておくときの荷姿は第3図または第4図のようにカッターホルダ5を回動した状態で箱詰めして保管するか、または第1図のように分解して保管することも可能である。また家庭内や事務所内では第3図または第4図のようにカッターホルダ5を回動した状態で収納する。

*

* (発明の効果)

以上詳述した通り本発明によれば、紙截断基盤の両側面に回動可能に設けた支持具にレールを固定支持し、この支持具の回動支点を紙截断基盤に対して支持具を外側に回動したときレールが紙截断基盤の端縁から外れる位置としたので、カッターホルダを操作する手は不自然にはならず紙截断時の使い勝手を向上するとともに工作時の使い勝手をも向上し、更には荷姿を小さくして保管および収納のスペースを小さくすることができる。そして紙截断基盤に引き出しを設けたので、事務機器としての機能を一段と向上することができる。

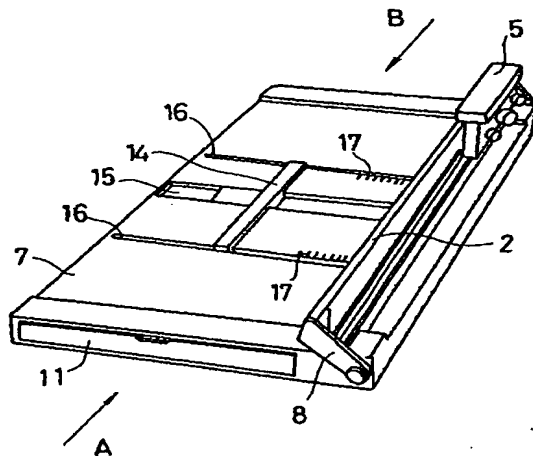
【図面の簡単な説明】

第1図ないし第8図は本発明の一実施例であり、第1図は紙截断器の組み立て分解斜視図、第2図は組み立てた状態を示す斜視図、第3図はカッターホルダを回動して机上に置いた状態を示す側面図、第4図は紙截断基盤を裏返しにした机上に置いた状態を示す側面図、第5図はレールの縦断面図、第6図はカッターホルダの正面図、第7図は支持具の側面図、第8図は第7図の正面図である。

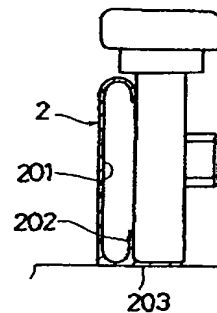
第9図は従来の紙截断器の側面図、第10図は従来の紙截断器を裏返しにして机上に置いた状態を示す側面図、第11図は従来の紙截断器の斜視図である。

- 2……レール
- 5……カッターホルダ
- 7……紙截断基盤
- 8……支持具
- 11……引き出し

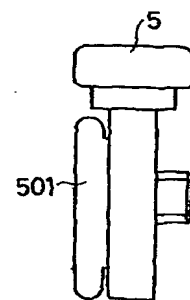
【第2図】



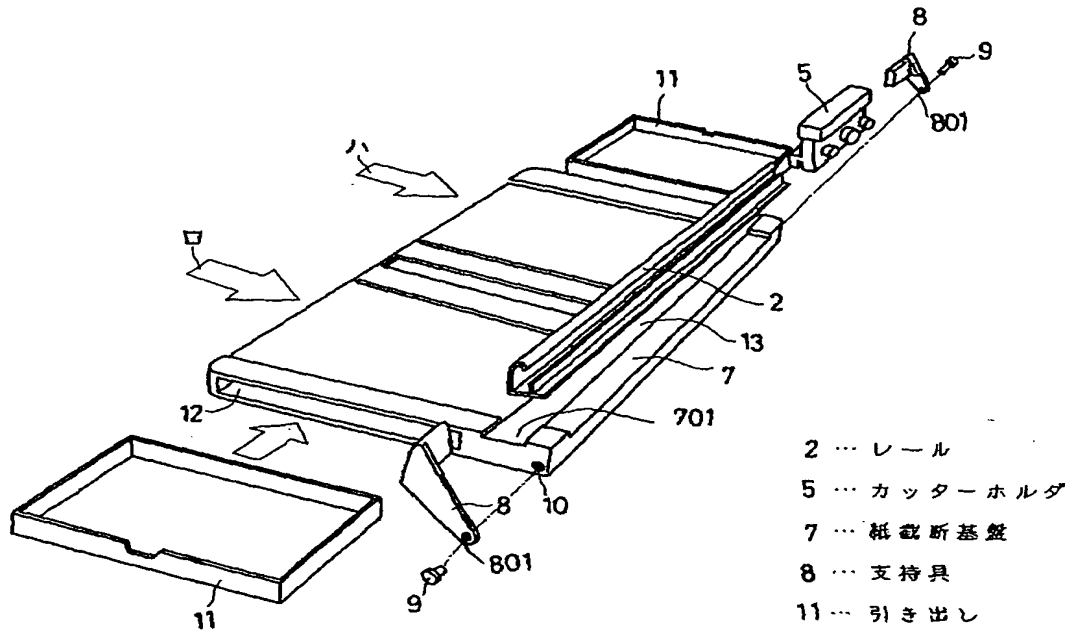
【第5図】



【第6図】

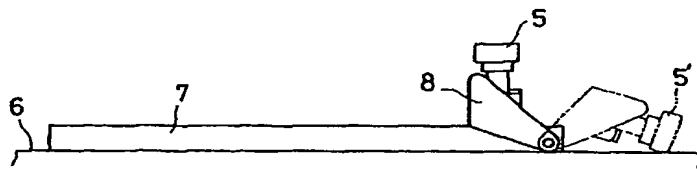


【第1図】

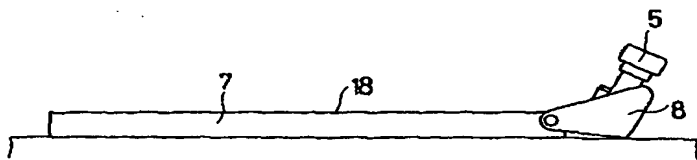
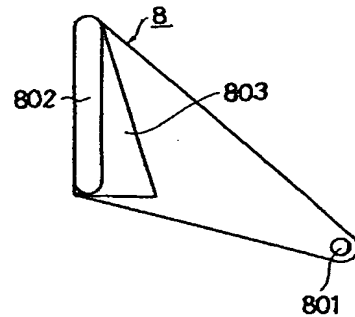


【第3図】

【第7図】

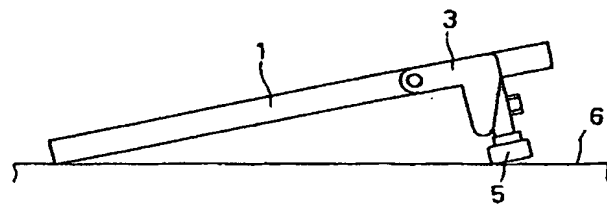
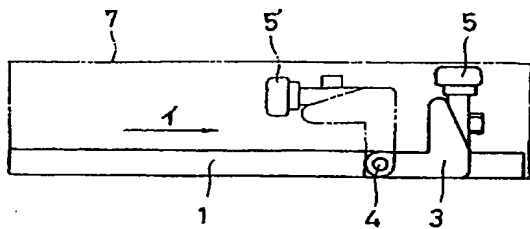


【第4図】

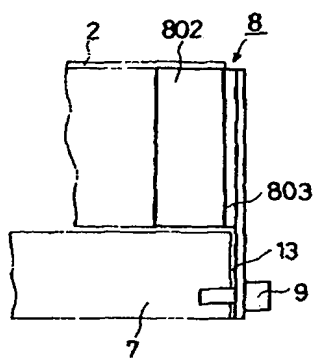


【第9図】

【第10図】



【第8図】



【第11図】

